

| | | |
|--|--|-------------------------------|
| 〔科目名〕 会計学基礎論 b (経済学科) | 〔単位数〕 4単位 | 〔科目区分〕 専門科目 基礎科目 |
| 〔担当者〕 紫関 正博 Shiseki Masahiro | 〔オフィス・アワー〕 時間: 授業の開始時に提示 場所: 研究室(512) | 〔授業の方法〕 講義 |
| 〔科目の概要〕 <p>会計とは何か。皆さんの中には、会計といえば、お店での代金の支払い、あるいは、そのお店が行っている簿記(複式簿記)をイメージする人が多いかもしれない。たしかに、会計には、それぞれの企業が日常行う会計実務(個別主体の会計)の側面がある。企業は会計を用いて、企業活動による財務情報を企業外部に提供している。しかし、会計は、個々の企業の会計実務の他に、現代の資本主義社会の根底を支えている社会制度の側面を持っている。それゆえに、会計が社会にどのような役割を果たしているのかを考えることが重要である。会計は、我々を取り巻いている経済現象を、会計文書上に「用語」と「数値」(金額)を使って映し出そうとするメカニズムである。</p> <p>しかしながら、会計は、あたかも鏡のように経済現象を会計文書上に映し出すものではない。会計は一定の規則に従って、会計自体の計算構造の論理を用いて利益を算定することに使命がある。会計はこうして算定した利益の金額によって決定される税・配当・公共料金などの経済現象に対して、社会的合意を与える社会制度として存在している。</p> <p>会計は大きく2つに分けて捉えることができる。1つは管理会計と呼ばれ、企業内部の経営者や管理者に対して経営管理に役立つ情報を提供することを目的とした会計である。もう1つは財務会計と呼ばれ、情報を提供する側の経営者が、株主、債権者、地方自治体などの利害関係者に企業の財務状況を報告することを目的とした会計である。会計は社会制度であることから、企業が外部に報告する財務状況は、会計規則や法律、会計理論に基づいた報告でなければならない。</p> <p>「会計学基礎論 b」では、会計の初学者を念頭に、会計と簿記(複式簿記)の基礎を学習する。企業の会計情報の作成方法(複式簿記)を学ぶとともに、企業が公表する会計情報に対する理解力を養い、「会計とは何か」を学生諸君が意識的に考える時間としたい。</p> | | |
| 〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・「なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 <p>・他の科目との関連付け 経済学科の科目では、会計科目の必修科目は「会計学基礎論 b」のみであるが、この科目は、特に「経営学基礎論」と関連がある。また、この科目は簿記(商業簿記や工業簿記)と不可分の関係にあることから、積極的に簿記検定やビジネス会計検定などの会計関連の資格取得にチャレンジして欲しい。</p> <p>・学ぶ必要性と学ぶことの意義 会計は、ビジネスの言語として、社会人の必須の知識となっている。財務諸表の作成と理解にあたっては、まず初めに簿記(複式簿記)の学習が必要である。同時に、会計の「用語」の専門的意味の理解も不可欠となってくる。最近では、多くの企業において、財務諸表を読んで会計情報を読み解く力がますます重視されてきている。このように、企業人は会計の専門的知識を身につけ、そのスキルを磨くことが一層重要となっている。「会計学基礎論 b」は、こうした専門的な会計知識の基礎を確立するための科目である。</p> | | |
| 〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 <p>(中間目標) 日商簿記検定試験3級レベルの要点の理解力と知識を身に付ける。</p> <p>(最終目標) 企業が公表する会計情報に対する理解力を養い、「会計とは何か」を学生諸君が積極的に考えはじめ、それを意識的に考えることができるようになることも目標とする。ぜひとも、日商簿記検定試験、ビジネス会計検定試験などの簿記や会計に関する資格を取得してもらいたい。</p> | | |
| 〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <p>聞き取りづらいことがないように、引き続き、明瞭に話すことを意識して説明します。また、板書の際に文字が見えにくくならないよう心掛けます。教科書の内容に関しては、一見難しく感じることも、テーマに関する重要な事柄を強調し、より明確に伝えるように努めます。</p> | | |

〔教科書〕

鈴木義夫・千葉修身 著『会計研究入門―“会計はお化けだ！”―』, 森山書店, 2015年。

〔指定図書〕

鈴木一道 編著『会計学 はじめの一步(第2版)』, 中央経済社, 2020年。

〔参考書〕

日本大学会計学研究室 編『はじめての会計学(第6版)』, 森山書店, 2019年。
渡部裕亘・片山覚・北村敬子 編著『検定簿記講義 3級 商業簿記[2021年度版]』, 中央経済社, 2021年。
(※新版[2022年度版]が出版された場合は, 新版[2022年度版]を参考書とします。)

〔前提科目〕

前提科目はなし。積極的に, 会計および簿記(複式簿記)の学習をしてほしい。

〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)

・期末試験の他に, 授業中に小テストを数回(2~3回程度を予定)行う。小テストの実施日は, 授業内および掲示で伝達するので, 注意すること。

〔評価の基準及びスケール〕

・小テスト(計30%), 期末試験(70%)によって, 評価する。なお, 2022年6月実施の日商簿記検定試験3級の合格者は, 評価の際に加点する。但し, 必ず合格証のコピーを提出すること。

| | | | |
|------|--------------|-----|------|
| (評価) | A: 80%以上 | GPA | 4.00 |
| | B: 70%~80%未満 | | 3.00 |
| | C: 60%~70%未満 | | 2.00 |
| | D: 50%~60%未満 | | 1.00 |
| | F: 50%未満 | | 0.00 |

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕

- ・初回の授業の際に, 評価方法などの詳細を説明するので, 必ず出席すること。
- ・「会計学基礎論b」の授業では, 会計の初学者を念頭に置き, 会計の基礎を分かりやすく説明するように心掛ける。
- ・電卓を毎回持参すること。講義レジュメはファイリングし, いつでも参照できるようにしてほしい。
- ・会計の学習に際しては, 考えることと同時に, 覚える事柄も数多くあるので, 予習と復習をして授業に臨むこと。
- ・他の学生の迷惑になる行為はくれぐれも慎むこと。まず注意をするが, ひどい場合には, 特に厳しく対処する。

〔実務経歴〕

該当なし。

授業スケジュール

| | |
|-----|---|
| 第1回 | テーマ(何を学ぶか): ガイダンス 内 容: 会計の「用語」と「数値」(金額) 教科書, 講義レジュメ |
| 第2回 | テーマ(何を学ぶか): 簿記のルールを学ぶ 内 容: 簿記(複式簿記)と会計の関係 教科書, 講義レジュメ |

| | |
|------|---|
| 第3回 | <p>テーマ(何を学ぶか):複式簿記と勘定記録</p> <p>内 容:会計文書上の貨幣的表現の意味内容の変化</p> <p>教科書, 講義レジュメ</p> |
| 第4回 | <p>テーマ(何を学ぶか):簿記の仕組みと基礎概念①</p> <p>内 容:簿記の仕組みを学ぶ(1)</p> <p>教科書, 講義レジュメ</p> |
| 第5回 | <p>テーマ(何を学ぶか):簿記の仕組みと基礎概念②</p> <p>内 容:簿記の仕組みを学ぶ(2)</p> <p>教科書, 講義レジュメ</p> |
| 第6回 | <p>テーマ(何を学ぶか):仕訳と取引①</p> <p>内 容:仕訳と取引を学ぶ(1)</p> <p>講義レジュメ</p> |
| 第7回 | <p>テーマ(何を学ぶか):仕訳と取引②</p> <p>内 容:仕訳と取引を学ぶ(2)</p> <p>講義レジュメ</p> |
| 第8回 | <p>テーマ(何を学ぶか):仕訳と取引③</p> <p>内 容:貸借対照表と損益計算書, 現金預金取引, 現金過不足勘定を学ぶ</p> <p>講義レジュメ</p> |
| 第9回 | <p>テーマ(何を学ぶか):仕訳と取引④</p> <p>内 容:当座預金勘定と当座借越勘定, その他の預金を学ぶ</p> <p>講義レジュメ</p> |
| 第10回 | <p>テーマ(何を学ぶか):仕訳と取引⑤</p> <p>内 容:売掛金と買掛金, クレジット売掛金を学ぶ</p> <p>講義レジュメ</p> |
| 第11回 | <p>テーマ(何を学ぶか):仕訳と取引⑥</p> <p>内 容:分記法と三分法を学ぶ(1)</p> <p>講義レジュメ</p> |
| 第12回 | <p>テーマ(何を学ぶか):仕訳と取引⑦</p> <p>内 容:分記法と三分法を学ぶ(2)</p> <p>講義レジュメ</p> |
| 第13回 | <p>テーマ(何を学ぶか):仕訳と取引⑧</p> <p>内 容:貸倒れと貸倒引当金を学ぶ(1)</p> <p>講義レジュメ</p> |
| 第14回 | <p>テーマ(何を学ぶか):仕訳と取引⑨</p> <p>内 容:貸倒れと貸倒引当金を学ぶ(2)</p> <p>講義レジュメ</p> |
| 第15回 | <p>テーマ(何を学ぶか):仕訳と取引⑩</p> <p>内 容:貸付金と借入金, 未収金と未払金, 前払金と前受金を学ぶ</p> <p>講義レジュメ</p> |
| 第16回 | <p>テーマ(何を学ぶか):仕訳と取引⑪</p> <p>内 容:立替金と預り金, 仮払金と仮受金, 受取商品券, 差入保証金を学ぶ</p> <p>講義レジュメ</p> |
| 第17回 | <p>テーマ(何を学ぶか):仕訳と取引⑫</p> <p>内 容:手形取引と手形記入帳を学ぶ</p> <p>講義レジュメ</p> |

| | |
|------|---|
| 第18回 | <p>テーマ(何を学ぶか):仕訳と取引⑬</p> <p>内 容:電子記録債権・債務を学ぶ</p> <p>講義レジュメ</p> |
| 第19回 | <p>テーマ(何を学ぶか):仕訳と取引⑭</p> <p>内 容:有価証券の取引,有形固定資産の取引を学ぶ</p> <p>講義レジュメ</p> |
| 第20回 | <p>テーマ(何を学ぶか):仕訳と取引⑮</p> <p>内 容:株式会社の設立,株式の発行,繰越利益剰余金,配当を学ぶ(1)</p> <p>講義レジュメ</p> |
| 第21回 | <p>テーマ(何を学ぶか):仕訳と取引⑯</p> <p>内 容:株式会社の設立,株式の発行,繰越利益剰余金,配当を学ぶ(2),税金の処理を学ぶ</p> <p>講義レジュメ</p> |
| 第22回 | <p>テーマ(何を学ぶか):決算修正仕訳①</p> <p>内 容:費用の未払い,収益の未収,費用の前払い,収益の前受けを学ぶ(1)</p> <p>講義レジュメ</p> |
| 第23回 | <p>テーマ(何を学ぶか):決算修正仕訳②</p> <p>内 容:費用の未払い,収益の未収,費用の前払い,収益の前受けを学ぶ(2)</p> <p>講義レジュメ</p> |
| 第24回 | <p>テーマ(何を学ぶか):決算修正仕訳③</p> <p>内 容:消耗品費,貯蔵品の処理を学ぶ</p> <p>講義レジュメ</p> |
| 第25回 | <p>テーマ(何を学ぶか):決算①</p> <p>内 容:決算手続きまでの簿記一巡の手続きを学ぶ(1)</p> <p>講義レジュメ</p> |
| 第26回 | <p>テーマ(何を学ぶか):決算②</p> <p>内 容:決算手続きまでの簿記一巡の手続きを学ぶ(2)</p> <p>講義レジュメ</p> |
| 第27回 | <p>テーマ(何を学ぶか):損益計算原理①</p> <p>内 容:維持すべき資本</p> <p>教科書, 講義レジュメ</p> |
| 第28回 | <p>テーマ(何を学ぶか):損益計算原理②</p> <p>内 容:企業観と損益計算</p> <p>教科書, 講義レジュメ</p> |
| 第29回 | <p>テーマ(何を学ぶか):損益計算原理③</p> <p>内 容:貨幣資本計算</p> <p>教科書, 講義レジュメ</p> |
| 第30回 | <p>テーマ(何を学ぶか):総復習</p> <p>内 容:講義内容の総括</p> <p>教科書, 講義レジュメ</p> |
| 試験 | <p>筆記試験の実施</p> |